

弥平四郎自治区 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成29年5月15日（月） 午後2時00分～3時30分

2. 対象地区・団体

弥平四郎自治区

3. 開催会場

弥平四郎集会所

4. 代表者・参加者

篠木留吉自治区長、参加者計15人

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、企画情報課長 矢部喜代栄、建設水道課長 成田信幸、健康福祉課長 渡部英樹、町民税務課長 五十嵐博文、企画情報課課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 武藤洋一

6. その他出席者

集落支援員 岩橋義平、地域おこし協力隊 小林拓也

7. 自治区長あいさつ 篠木留吉 弥平四郎自治区長

皆様には平日のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今回の町政懇談会は道路対策や除雪、空き家対策などの課題を話し合う機会でもあるので、よろしくお願いします。

8. 町長あいさつ及び町政方針説明

まず、暮らしと環境の整備として奥川から野沢までの縦貫道路の整備を進めているが、最大の課題である橋屋橋の架け替え工事について、平成30年3月末までに完成することについて説明。

続いて、新郷樟山地内の県道上郷下野尻線樟山バイパスについて再来年の完成を目指して工事が進められており、その工事が終了すると、最後に奥川中町工区を整備して縦貫道路が完成する。縦貫道路の完成により、奥川地区と野沢地区が車で15分で結ばれることになるため、これからは奥川地区の住民が野沢へ行きやすくなるだけでなく、奥川へ多くの人を訪れるよう地域づくりを進めていく必要がある。これまで奥川地区においては、老朽化していた奥川支所について、旧奥川小学校を改修して奥川みらい交流館として整備したことから、その施設を有効に活用して奥川地区の地域づくりを進めていくことについて説明。

三つ目は、現在の役場庁舎が老朽化していることから、旧野沢小学校校舎を改修して役場庁舎として整備を行っていることについて説明。

四つ目は、新郷地区の芸術村について、年間4千人が訪れる施設となったことにより、消防法に定めるスプリンクラーの設置など、施設整備を今年度実施することについて説明。

五つ目は、産業と農林業の振興について、震災と原発事故による風評被害の払拭に取り組んでいること、新しい産業として若い生産者が菌床きのこ栽培に取り組んでおり、今年度は森林資源を活用した培養施設整備を行うこと、更には鳥獣害被害対策についてしっかりと取り組んでいくことについて説明。

六つ目は、昨年8月にミネラル野菜の家がオープンしたことにより、道の駅の来場者が年間30万

人から 50 万人に増えていることについて説明。

七つ目は、福祉政策について、町の子どもの数については人口約 6,300 名のうち 534 名となっており全体の 8.5%であるが、将来的には 10%（約 630 名）へ引き上げられるよう目標を定めて取り組んでいくこと、高齢者については、町の高齢化率は 43%であり、75 歳以上の人口は 1,750 名となっているが今後は年々減少していく予測が出ている。介護保険について、要介護の方は介護保険のサービスを利用してもらっているが、要介護にならない要支援の方などは、デイサービスの利用や要介護にならないようサロン活動に参加してもらうなど、在宅介護を基本に進めていくこと、在宅では難しい方については施設介護も行っていくことについて説明。

八つ目は、山間地の小集落の対応策として、希望があれば冬期間の共同生活のあり方について検討をしていかなければならないことについて説明。

最後に、今年度の町の予算は 64 億 7 千万と過去最高の予算となっており、様々な施策についてしっかりと対応していくことについて説明。

9. 地域課題等について

自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ課題ごとに担当課長より回答。内容は別紙のとおり。

10. 意見交換等

[質問等]

鏡山の登山道の手前（四ツ沢、ダムの手前）に大きな土管が 2 本入っているところがありますが、毎年、木が引っかかるなど道路の通行に支障が出ている箇所があるので見ていただきたい。

[町]

一度、現地を確認してから対応したいと思います。

[質問等]

飯豊登山口までは、林道になっていると思いますが、新潟県の林道と比べると整備されていない箇所が多いので登山道でもあることから整備をしてもらえないでしょうか。

[町]

登山道でもあるため、砂利敷など毎年行っていますが、今後もしっかりと修繕を行っていきたいと思います。

[質問等]

県道熱塩加納西会津線稲荷峠の通行止めについて、弥平四郎入口付近に通行止めのバリケードが設置されておりますが、その先に個人所有の畑があり、車で行くことができません。バリケードを現在地より 500m くらい先（砂防ダム付近）に設置していただけないでしょうか。

[町]

手前に注意看板を設置し、バリケードは奥に設置するなど、バリケードを移設するよう建設事務所に伝えます。

[質問等]

除雪ができない高齢者の方などは、優先的に生活支援ハウスに入ることはできないでしょうか。

[町]

生活支援ハウスには14名が入所可能となっています。毎年9月に入所についての要望調査を行っています。希望が多くなる場合は調整することもあります。予め地域包括支援センターに相談しておくことで申請時期にお知らせなどをしていただけます。

また、将来的には奥川地区で冬期間共同生活ができるような場所を作り、冬期間以外は都市との交流などで利用して奥川に多くの人が訪れるような方法もあると思います。

[質問等]

これまで、このように話し合う機会なかったので、1年に1回くらいは今日のような懇談会が開かれるようにしていただきたい。

[町]

1年に1回くらいはこのような話し合いの機会は大切であると思います。このように集まってお茶のみや話し合いなどを行うのがサロン活動でもあるので、そのような場面に参加するなど話し合いの機会を作りたいと思います。

11. 閉会のあいさつ

今日出された意見につきましては、しっかりと対応をさせていただきます。今後は、この地に住んで良かったと思える町を目指して皆さんの声を聞きながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いし閉会のあいさつとします。本日はありがとうございました。